

## 人生マックスのスピードで生きたい

ゲスト KO SLANG

聞き手：Misao Redwolf（首都圏反原発連合）



## 東日本大震災—阪神淡路と奥尻の記憶

**Misao** 2011年3月11日に東日本大震災が起きたとき、KOさんはなにをされてましたか？

**KO** もうすぐ40歳になるし、なにかちょっとマジメなことをやっていかないとダメだなと思って、動物保護とか障がい者施設のこととか、戦争とか原発のことなどを発信するWeb媒体を作っていて、6～7割ぐらいコンテンツがまとまってきたところで、震災が起きたんです。

おれの出身地の日高とか、奥尻のときの揺れと似ているな、内陸なので普段あまり揺れない札幌がこんなに揺れるということは、どこかがえらいことになっているな、と直感的に思いました。南三陸町の津波の映像を見て、なんだこれ？と驚いて、そこから3日ぐらい、ほとんど寝ずにテレビやネットで情報を収集していましたね。

**Misao** 私もそうでした。ちょっと仮眠をとって、またネットを見てという感じで。

**KO** そんな感じでしたよね。阪神淡路大震災のときに、ボランティアに行つたやつがいてね。そいつは不良なんだけど、身近でそんなことをしたやつは初めてだし、いろいろ話を聞きました。その翌年に奥尻で地震があって（北海道南西沖地震）、おれもボランティアに行きたいと思ったけど、行けなかつたんですよね。そのころ、おれに子供が生まれてそんなに経たないところで、お金もなくて。

昔、立て続けに大災害が起こったのに、何もできなかったというのが、



## Walk and Talk it 「彼ら」に「福島第一原発事故」は起きたのか——ヘンリー・ジェイムズ『第三者』

ヘンリー・ジェイムズの短編小説『第三者』で、二人の女性が自宅の屋敷で古文書を発見し、文書解説を依頼したその夜、スーザンにだけ見える男の幽霊が現れる。文書は二人の先祖の、密輸罪で絞首刑になっていた男のものだった。もう一人、エイミーの前にも幽霊が現れ、二人は幽霊を退散させようとする。罪への自責の念に囚われているのなら贖罪を助けようとスーザンは全財産を献金したが、幽霊は再び現れる。一方エイミーは禁輸品の本を自国に密輸した。子孫が罪を反復したからか、幽霊はそこから現れなくなった。

森功『官邸官僚 安倍一強を支えた側近政治の罪』によ

ると、安倍首相と311以後の原発再稼働を主導してきた今井尚哉首相補佐官の距離が近づいたのは、今井氏が、岸信介の商工大臣時代の秘書官だった、今井善衛元通産事務次官の甥であることを首相が知ってからだったという。安倍氏の政治活動が全て祖父岸信介の「亡靈」に囚われ今井氏の重用もその一環であるとしたら、安倍氏はいわれるがまま原発推進に加担していることになる。エイミーは幽霊退散のために密輸という罪を犯したが、「亡靈」に囚われた結果が國の金を使う危険な原発推進だというなら、原発政策はほんほんのお遊びに過ぎなくなる。本当に「彼ら」に、「福島第一原発事故」は起きたのだろうか。(TH)

NONUKES ENERGY AUTONOMY

のメール連絡の対応をずっとしてました。寝て起きたら、もうずっとメールの対応で、最初の1～2年ぐらいは、ライブのとき以外は、ほとんど家から出られなかったですもん。

## 自分も変わっていく

**Misao** KOさんはハードコア・バンド「SLANG」をやりながら、ライブハウスを経営したり、かたや震災の物資支援をしたり、原発問題に関しては『北海道反原発連合』を呼びかけ、私たちの官邸前抗議に呼応して道庁前抗議をやったり、差別撤廃の活動もされています。いろいろなことに取り組んでこられましたが、生きていく上で、なにかやる上で、意識したり大事にしていることはなんでしょうか？

**KO** とりあえずやってみる、ということです。人との関係とか、スポーツとか習い事なんかもすべて。これはおれにしかできないと直感的に思ったことは、まずやってみるんです。それが、はたから見たらおれの哲学だったり、生き方だと思われているかもしれませんね。

もうすぐ50歳になるんですが、45のときに考えが変わったんですね。それまでは「SLANG=おれ」、おれはSLANGそのものだと、まわりもみんなそう見るし、そう言うんだけど、それがなんか違うと思うようになってきて。それまで、おれはバンドのメンバーのことを信頼していくなくて、独りよがりだったんです。ただ、いまのメンバーと一緒にやるようになったときに、そいつらがあまりにもちゃんとしてくれるから、自分も変わらないといけないと思って、変わるってなんだろうと考えるようになったんです。

それまではSLANGこそがおれの人生だと思っていたし、いまでも、おれがいなければSLANGじゃないというのはあるけど、「SLANGをやっているおれ」という人間にもっと目がいくようになったんです。「おれという人間が歌詞を書いている」「おれという人間が曲を作っている」という、すごい当たり前のことにハッとした時期があったんです。そのときに、剣道、柔道、空手道、合気道、書道、茶道とか、「道」が付くことをちゃんとやりたいと思って、昔やってた空手の世界に戻りました。



## 死について

**Misao** あきらめと妥協、っていうやつですかね。

**KO** 男も女も色々あきらめちゃって、それはそれで別にいいけど、それがおまえの人生なの？ ただ消費しているだけじゃん、と思うことがあります。そういう生き方に魅力を感じない。同時に、このぐらいの年になると、死を意識するようになってくるじゃないですか。

**Misao** そうですよね。自分の死のイメージが具体化してきますよね。人生、よくてあと20～30年、下手したら10年ないかもしれないなとか考えますね。

**KO** ほんと、最近ですよ。50歳が間近になって、すごく死が具体的になってきて。SLANGは今年で31周年なんですが、あと30年、SLANGは絶対にできないなと思って、1年前ぐらいから、すごく考え込んでいます。

「道」の話に戻るんですけど、SLANGもそうなんですよ。瞬発力が命のハードコア・バンドなので、何年か前から衰えを感じているし、これが60歳、70歳になって、何年か前のそれを保っていられるわけがない。楽器の演奏と違ってボーカルは生身だからね。自分が老いる、要是死に向っていくときに、いろいろなことが自分の中にリンクして、これは違う、いやこれは違うみたいなことを考えています。

死ぬのは怖いし、死にたくはないんだけど、絶対に死ぬじゃないですか。死んだ先に何があるかはわからないし、おれはちょっと不思議な体験もしているので、死後の世界とか信じているようで、でも信じてないようでもあって。おれはここを、スパートと突っ切りたいんですよ。「死」っていうものを。そのときにはもちろん一番、まわりの人に感謝や大事なことは伝えていきたいけど、肉体を捨てるという部分に関しては、これまで自分の本質がなにかということを探し続けてきたように、それを探しながら、死んでいくんだろうなと思って。

だから、さっきの「あきらめ」というのは、その部分の否定になるんですね。人生マックスのスピードで生きたいというのは、精神的で意識的な問題なんです。「眠るように死んだよ、あの人」はと言われるかもしれないけど、「イヤ違うんだよ、わかっていないんだよ」という感じですかね。

(2019年10月5日 東京都新宿区にて)

**SLANG** <http://www.slang1988.com/index2.html>



インタビュー全文はこちらでご覧いただけます  
<http://coalitionagainstnukes.jp/?p=13447>

次回予告 NO NUKEs! human chains vol.13

このインタビュー・シリーズでは、ゲストのかたに次のゲストをご紹介いただきます。KOさんからは、田原“104”洋さん(MOBSTYLES.&MOSH プロデューサー)をご紹介いただきました。

+++++

2年間連載しましたNO NUKEs! human chains は、次回をもって休止いたします。10年目の3.11に向けた企画などを予定していますので、引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

次回はNO NUKEs PRESS webのみでの掲載になります。

<http://coalitionagainstnukes.jp/?cat=40>

+++++



## 『GREATEST SHITS』SLANG

RLCA-1200 / ¥2,300



SLANG30周年記念編集盤レア&ベストアルバム。  
不屈の名曲“何もしないお前に何がわかる 何もしないお前の何が変わる”をはじめとした代表曲はもちろん、アルバム収録曲から現在まで入手困難となっているEPやコンピ収録曲、デモ音源、プリプロ音源などをまとめた1枚。

**STRAIGHT UP RECORDS**  
<http://www.straightup-rec.com>

## 編集後記

原子力規制委員会が定めたテロ対策設備の設置期限に間に合わず、川内、高浜原発の稼働停止が予定されている。原発マナー違反 #閑電疑獄 で原発産業への信頼も完全に失墜し、原発は風前の灯火に。春からは念願の発送電分離が実施されるが、大手電力が管理するので公正さへの監視は必要だ。

原発推進国スウェーデンの環境活動家の発言の影響で、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しない原発を再評価する流れが起きつつある。塵っぷちに立つ原発産業に、再び勢いを与えないように用心しなければいけない。CO<sub>2</sub>は国際的取り組みになったのに、なぜ原発や放射能はなりえないのか。9度目の3.11を前に、理不尽さに悔しさを覚える。